

2016年度 事業報告書・決算書

自 2016年4月1日

至 2017年3月31日

一般社団法人 **日本オートキャンプ協会**

2016年度事業報告書

(2016年4月1日～2017年3月31日)

1. オートキャンプの普及促進

(1) 「アウトドアデイジャパン2016」の主催

① アウトドアデイジャパン2016 東京

開催日 : 2016年4月9日(土)～10日(日)
場 所 : 都立代々木公園B地区イベント広場・野外ステージ(東京都渋谷区)
来場者 : 143,697人
義援金 : チャリティーオークションを開催し、売上526,600円を東日本大震災義援金として日本赤十字社に寄付をした。

② アウトドアデイジャパン2016 札幌

開催日 : 2016年6月4日(土)～5日(日)
場 所 : 札幌市北3条広場・北海道庁旧本庁舎(赤レンガ庁舎)前広場(札幌市中央区)
来場者 : 21,996人
義援金 : チャリティーオークションを開催し、売上110,600円を東日本大震災義援金として日本赤十字社に寄付をした。

③ アウトドアデイジャパン2016 福岡

開催日 : 2016年4月23日(土)
場 所 : 福岡市天神中央公園(福岡市中央区)・東京会場広尾ガーデン(東京都港区)
熊本地震のため福岡と東京でチャリティーオークションを開催。
福岡(264,400円)、東京会場(547,200円)合わせて811,600円を福岡市を通して、熊本地震の義援金として寄付した。

④後 援 : (東京・札幌・福岡) 観光庁、環境省、公益社団法人日本観光振興協会、
一般社団法人日本自動車工業会、一般社団法人日本自動車連盟
(東京) 東京都
(札幌) 北海道、札幌市、札幌市保育連盟
(福岡) 福岡県、福岡市、福岡県保育協会

(2) 第12回「オートキャンプの日」事業

オートキャンプの日(毎年5月第3土曜日)を記念して、全国のオートキャンプ場において、オートキャンプ普及発展のためのイベントを実施した。

開催日 : 2016年5月21日(土)
場 所 : 参加オートキャンプ場 63カ所
(日本レクリエーション協会 主催「あそびの日」キャンペーン事業に参加)

(3)「ジャパンキャンピングラリー2016(第46回全日本オートキャンプ大会)」の開催

開催日 : 2016年9月17日(土)～19日(月・祝)
場 所 : くじゅうやまなみキャンプ村(大分県玖珠郡九重町)
主 催 : 一般社団法人日本オートキャンプ協会
第46回ジャパンキャンピングラリーin 九州実行委員会
後 援 : 総務省、スポーツ庁、環境省、観光庁、日本観光振興公社、大分県、
熊本県
出 展 : (株)ロゴスコーポレーション、スポーツオーソリティー
参加企業 : キャンパルジャパン(株)、進誠産業(株)、パール金属(株)
レッドレンザージャパン(株)
参加者 : 100名(台湾8名)
(台湾の参加者からの義援金100,000円は日本赤十字社大分支部に贈られた)

(4)地域ブロック大会の主催

① 以下の5回の地域ブロック大会を主催した。

• JAC関東の集い

開催日 : 2016年5月21日(土)～22日(日)
場 所 : 塩原グリーンビレッジ(栃木県那須塩原市)
主 幹 : JAC関東ブロック
参加者 : 23組

• 北海道オートキャンプ大会

開催日 : 2016年6月18日(土)～19日(日)
場 所 : マオイオートランド(北海道長沼町)
主 幹 : JAC北海道ブロック
参加者 : 27組83名

• JAC近畿の集い

開催日 : 2016年10月8日(土)～9日(日)
場 所 : 湯の原温泉オートキャンプ場(兵庫県豊岡市)
主 幹 : JAC近畿ブロック
参加者 : 49組

• 第16回東北オートキャンプ大会

開催日 : 2016年6月25日(土)～26日(日)
場 所 : 夜越山オートキャンプ場(青森県平内町)
主 幹 : JAC東北ブロック
参加者 : 8組18名

- JAC東海の集い

開催日 : 2016年9月24日(土)～9月25日(日)
場 所 : 西伊豆オートキャンプ場(静岡県西伊豆町)
主 幹 : JAC東海ブロック
参加者 : 17組40名

- ② 3つの地域ブロック大会に対して参加組数に応じた補助金を支給し、オートキャンプの普及促進を支援した。

(5) オートキャンプの普及促進ならびに会員数増大のための支援・協賛

オートキャンプの普及促進のため、指導者や関連団体が実施するオートキャンプ関連事業等について後援を行った。

- みんなのキャンプ教室 in ケニーズ(後援)

開催日 : 2016年5月21日(土)～22日(日)
場 所 : ケニーズ・ファミリー・ビレッジ(埼玉県飯能市)
主 催 : IFCC
参加者 : 10組43名

- 第6回北海道キャンピングフェア(後援)

開催日 : 2016年5月21日(土)～22日(日)
場 所 : 国営滝野すずらん丘陵公園(札幌市)
主 催 : 北海道キャンピングフェア実行委員会
入園者 : 23, 576人
出展者 : キャンピングカー関連5社、アウトドア用品関連 10 社、飲食関連7団体

- みんなのキャンプ教室 in 山梨(後援)

開催日 : 2016年6月11日(土)～12日(日)
場 所 : 黒坂オートキャンプ場(山梨県笛吹市)
主 催 : IFCC
参加者 : 16組40名

- 青森県ファミリーオートキャンプ大会(後援)

開催日 : 2016年8月20日(土)～21日(日)
場 所 : モヤヒルズオートキャンプ場(青森市)
主 催 : 青森県オート・キャンプ協会
参加者 : 31組108名

- Mt. FUJIエコサイクリング2016(後援)

開催日 : 2016年9月3日(土)～4日(日)
場 所 : 富士五湖周辺
主 催 : 公益財団法人日本サイクリング協会
参加者 : 1, 413人

(6) 会員制度の充実と会員数増大策の推進

① 個人会員 (株)メガスポーツとの提携による用品購入時の5%オフの実施
コンビニエンスストア「ローソン」の端末「ロッピー」からの入会システム導入

② 団体会員(オートキャンプ場)

オートキャンプハンドブック&ロケーションガイド、広報紙、ホームページで会員情報を発信、来場促進向けのサンプリング商品の提供

③ 団体会員(用具・用品及びRV・施設関連)

オートキャンプハンドブック&ロケーションガイド、広報紙、ホームページで会員情報を発信。

(7) 収益事業の拡充

① 2016年4月に日本製粉もんじゃ焼きのもとを、7月と9月に、サントリーノンアルコール飲料のサンプリングを行った。

② 年間を通して、焼肉網洗浄剤及び木炭の販売を行った。

③ ホームページへのバナー広告等広報媒体の活用を図った。

(8) 「観光としてのオートキャンプ」の普及促進

① 英国キャンピングカーツアーと連携し、国内9カ所のキャンプ場を紹介。

② 観光部会の開催。

(9) 初心者用キャンプギアセットの販売

前年に引き続き(株)ロゴスコーポレーションとの協働により、公認オートキャンプ指導者が推奨する初心者にとって必要最小限の用品を揃えた「ファーストステップ・キャンプギアセット」をPRした。

2. オートキャンプに関する相談及び支援

(1) オートキャンプ場整備事業

公設キャンプ場に集会用宝くじテント(一般財団法人日本宝くじ協会助成事業)を配布した。

① 公設キャンプ場への配布 40張 (2016年8月)

(2) 星マーク認定制度の実施

星マーク認定部会の開催

9回開催し、星マーク審査の新基準を作成した。

星マーク認定状況 (2017年3月31日現在)

	認定キャンプ場数
星5	8か所
星4	26か所
星3	7か所
星2	5か所
星1	0

(3) 公認オートキャンプ指導者の活用促進

- ① 4月にアウトドアデイズジャパンの東京会場、6月に札幌会場で指導者ブースを開設
- ② 5月にノンアルコールビールのCM撮影に派遣
- ③ 5月に7カ所、7月に6カ所で、スバルディーラーでのキャンプ教室に派遣

(4) オートキャンプ場総合保険の取り扱いの推進

施設所有(管理)者賠償責任保険、見舞金保険、経営者・従業員傷害保険の斡旋。
(2016年度契約数 135キャンプ場)

(5) オートキャンプ場の運営に関する相談事業

キャンプ場や自治体、指定管理者等からの相談に対して、面談や電話による対応を行った。

(6) 地域ブロックキャンプ場フォーラムの開催

全道オートキャンプ場管理運営担当者会議

共 催 : NPO法人北海道オートキャンプ協会

開催日 : 2016年12月2日(金)

会 場 : 北海道立道民活動センター(札幌市)

内 容 : 北海道キャンプ場の利用動向、運営上の課題と取組について他

参加者 : 堺事務局次長、北海道内キャンプ場関係者 25名

3. オートキャンプに関する広報

(1) 広報紙「オートキャンプ」の発行・配布(毎月2万5千部、年12回30万部発行)

(一般財団法人日本宝くじ協会助成事業)

(2)「オートキャンプハンドブック&ロケーションガイド2016」の刊行・10万部配布(一般財団法人日本宝くじ協会助成事業)

全国のオートキャンプ場の団体正会員289か所の詳細な情報と、会員外のキャンプ場797か所の所在リストを掲載した「オートキャンプハンドブック&ロケーションガイド2016」10万部を刊行、配布した。(2016年5月)

(1)(2)の配布先:個人会員、団体正会員、会員外キャンプ場、アウトドア用品販売店、生涯学習センター、道の駅、アウトドアデイジャパン東京、札幌の来場者

(3)自然災害による被害を防止するための情報発信及び啓蒙

毎月の広報紙「オートキャンプ」と「オートキャンプハンドブック&ロケーションガイド」に、天候の急変時の臨機応変な対応を呼びかける記事を掲載するとともに、急な大雨・雷・竜巻から身を守るための知識や行動を知ることができる気象庁のホームページを紹介した。

(4)情報発信と情報交換・交流

インターネットの「ホームページ」による情報提供

① キャンプ場やインストラクターが主催するイベントの紹介及び指導者資格認定講習会や経営研究会等の協会行事の告知・報告を行った。

② 公認オートキャンプ指導者講習会の年間の開催予定を早い時期に公表して受講希望者への情報提供を向上させた。

(5)報道機関等への情報提供

① 「アウトドアデイジャパン2016」の開催において、アウトドア関連雑誌や情報誌等からの取材に積極的に協力して広報の拡充を図った。

②「オートキャンプ白書2016」発表会の開催

実施日 : 2016年7月5日(火)

場 所 : スクワール麴町(東京都港区)

出席者 : 報道関係者17社20名、団体会員・関係団体5団体5名

③ 「ジャパンキャンピングラリー2016」の開催において、地元の報道・マスコミ関係の後援を得ることにより、イベントの幅広い情報発信を図った。

④ その他マスコミや報道機関からの電話取材等に協力し、オートキャンプの普及促進を図った。

(6)オートキャンプに関わる電話及びメールの相談等の実施

オートキャンプに関するさまざまな電話及びメールの相談に対応した。

4. 公認オートキャンプ指導者の養成研修

(1)「公認オートキャンプ指導者インストラクター資格認定講習会」

① 第27回(ショップ向け講習会)

開催日 : 2016年6月22日(水)～23日(木)
場 所 : 四谷保健センター(東京都新宿区)
講 師 : 明瀬一裕(会長)、松本洋之介(常任理事)、重信修(インストラクター)、
小川智春(インストラクター)、加藤文人、影山盛太
受講者 : 14名(認定試験合格者14名)

② 第28回

開催日 : 2016年10月15日(土)～16日(日)
場 所 : 鮭川村エコパーク(山形県鮭川村)
主 幹 : JAC東北
講 師 : 出町淳司(理事)、杉田大輔(インストラクター)
受講者 : 4名(公認インストラクター資格認定試験合格者4名)

③ 第29回

開催日 : 2017年2月4日(土)～5日(日)
場 所 : 国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)
講 師 : 明瀬一裕(会長)、松本洋之介(常任理事)、篠崎大介(インストラクター)、
山本大輝(インストラクター)、重信修(インストラクター)、柳田健治(イン
ストラクター)
受講者 : 24名(認定試験合格者24名)

④ 第30回

開催日 : 2017年2月18日(土)～19日(日)
場 所 : 西脇市日本のへそ 日時計の丘公園(兵庫県西脇市区)
主 幹 : JAC近畿
講 師 : 岡田浩一(理事)、井上秀敏(インストラクター)、尾和正邦(インストラク
ター)、久保雅弘(インストラクター)、高橋稔明(インストラクター)、堺廣明
(事務局次長)
受講者 : 18名(認定試験合格者18名)

(2)公認オートキャンプ指導者(インストラクター、コーディネーター)

公認オートキャンプ指導者にはインストラクターとコーディネーターの2つのカテゴリーがあり2017年3月31日現在で認定している指導者数は314名となった

① 公認オートキャンプ指導者・コーディネーター

2017年3月31日現在 合計 19名

- ② 公認オートキャンプ指導者・インストラクター
2017年3月31日現在 合計 295名

5. オートキャンプ場経営に関する研究会の開催

(1)「キャンプ場経営研究会」の開催

開催日：2017年2月21日(火)～22日(水)

場所：国立オリンピック記念青少年総合センター

参加者：22名

内容：(1)「キャンピングカーユーザーの望むもの」

一般社団法人日本RV協会 会長 降旗 貴史、

事務局長 矢久保 達也

(2)「日の出公園オートキャンプ場における外国人利用の実態」

NPO法人北海道オートキャンプ協会

キャンプ場部会 宮武 清志

(3)「ディスカッション・2016年度のキャンプ場の状況について」

座長 田代常任理事・キャンプ場部会長

(4)「北軽井沢スウィートグラスの集客の秘訣」

北軽井沢スウィートグラス 玉井 宏和

(5)「新制度星マーク基準について」

田代常任理事キャンプ場部会長、堺事務局次長

6. オートキャンプに関する情報の収集・提供及び調査研究

(1) アンケート調査等の実施

時系列の項目のほかに新たなデータの収集項目を追加して、キャンパーの意識調査、用具・用品及びRV・施設関連、オートキャンプ場の実態調査を実施した。また、その結果を「オートキャンプ白書2016」に編集するとともに、適宜広報紙に掲載発表した。

(2)「オートキャンプ白書2016」の発行

キャンパーの意識調査、オートキャンプ場、用具・用品及びRV・施設関連の実態調査を行い、オートキャンプの現状及び将来について調査分析し、標題を「『グランピング』キャンプスタイルの多様化」とする白書を発行した。

7. 関係団体との連絡提携

(1)「アウトドアデイジャパン 2016 東京・札幌・福岡」の開催においては、観光庁、環境省、日本観光振興協会、日本自動車工業会、日本自動車連盟の後援を、東京会場については東京都、札幌会場については北海道と札幌市にそれぞれ得ることにより、関係省庁及び関係団体との連携を図った。

(2)「ジャパンキャンピングラリー 2016(第46回全日本オートキャンプ大会)」の開催においては、総務省、スポーツ庁、環境省、観光庁の関係省庁、熊本県、大分県のほか、九州運輸局に後援を得ることにより地元との連携を図った。

(3)以下の関係団体主催の行事・活動に参画し、連携を強化した。

① 自動車工業会2017年賀詞交歓会

開催日 : 2017年1月5日(木)
場 所 : 東京(グランドプリンスホテル新高輪)
主 催 : 一般社団法人日本自動車工業会
内 容 : 自動車関連企業経営者との関係構築及び情報交換
参加者 : 松永副会長、山元専務理事、堺事務局次長

② 第4回観光立国推進協議会

開催日 : 2017年1月20日(金)
場 所 : 東京(東京プリンスホテル)
主 催 : 公益社団法人日本観光振興協会
内 容 : 「観光立国実現に向けた提言について」及び観光庁長官への提言の手交
出席者 : 山元専務理事 / 協議会委員114企業・団体

8. 国際関係

(1)第84回FICC世界大会及びFICC総会

開催日 : 2016年7月29日(金)～8月7日(日)(総会8月3日)
場 所 : ポルトガル ポンテ・デ・リマ
参加者 : 明瀬会長

(2)その他国際関係団体との連携

10月29日、日本キャンプ協会が開催する「第6回アジア・オセアニア・キャンプ会議」へ協力団体として参画した。

9. 創立 50 周年記念事業の検討

創立 50 周年にあたる 2019 年のFICC国際ラリーの招致がFICC総会において、2019 年9月10月に福島県天栄村で開催することが決定された。

10. 総会・理事会・常任理事会・監事会の開催

(1) 理事会・総会

	開催日時	場 所	議 案
第 1 回 理事会	2016 年 5 月 17 日 (火) 15:00～15:50	四谷保健センター 集会室D・E	1) 2015 年度事業報告(案)及び決算 (案)について 2) 2016 年度定時総会の開催について
2016 年度 定時総会	2016 年 5 月 31 日(火) 15:00～16:10	四谷保健センター 多目的室	1) 2015 年度事業報告(案)及び決算 (案)について 2) 一般社団法人日本オートキャンプ 協会定款の一部改正(案)について 3) 役員候補者の推薦に関する内規の 一部改正(案)について
第 2 回 理事会	2017 年 3 月 30 日(木) 15:00～16:30	四谷保健センター 集会室D・E	1) 2017 年事業計画(案)及び収支予 算(案)について 2) 役員候補者推薦委員について 3) 「一般社団法人日本オートキャンプ 協会支部規程」の改正について 4) 協会設立記念日の創設について 5) 2017 年度定時総会について 6) 「総会に出席しない正会員が書面に よって議決権を行使することができる」 旨の決議を求める件

(2) 常任理事会

	開催日時	場 所	協議事項
第 1 回	2016 年 4 月 25 日(月) 18:00～20:00	四谷保健センター 集会室 C	1) 2015 年度事業報告(案)及び決算 (案)について 2) 50 周年記念事業について 3) 「アウトドアデイズジャパン 2015 福岡」と 熊本地震への対応について 4) 「アウトドアデイズジャパン 2016 東京」 について 5) 部会活動報告

第2回	2016年7月5日(火) 17:30～19:30	四谷保健センター 集会室 C	1)「ジャパンキャンピングラリー2016 in 九州」(仮称)について 2)FICC世界大会誘致について 3)星マーク認定部会の報告 4)支部設立準備委員会の報告 5)指導者講習会の報告
第3回	2016年9月26日(火) 18:00～20:00	四谷保健センター 集会室 C	1)FICC世界大会開催決定について 2)「第46回ジャパンキャンピングラリー in 九州」の報告について 3)星マーク認定部会の報告について
第4回	2016年12月7日(水) 18:00～20:00	四谷保健センター 集会室 C	1)2019年世界大会について 2)星マークについて 3)役員改選の事前協議について(日程等)
第5回	2017年2月13日(月) 18:00～20:00	四谷保健センター 集会室 C	1)2017年度事業計画(案)について 2)役員候補者推薦委員会委員候補者の提案と発議について 3)支部規定について 4)星マーク改訂について 5)日本レクリエーション協会「種目別全国交流大会」への参画について
第6回	2017年3月22日(水) 18:00～20:00	四谷保健センター 集会室 A	1)2017年度収支予算(案)について 2)支部規定について 3)観光部会

(3) 監査会

開催日	場 所	内 容
2016年4月28日(木)	協会事務所	2015年度事業報告(案)及び決算(案)監査

11. 専門委員会・部会の開催

(1) 総務委員会

	開催日	場 所	内 容
第11回	2016年4月25日(月)	四谷保健センター	個人情報保護規程・嘱託採用細則
第12回	2016年6月23日(木)	四谷保健センター	個人情報保護規定等について
第13回	2016年9月26日(月)	四谷保健センター	個人情報保護規定等について
第14回	2017年2月13日(月)	四谷保健センター	支部規程等の改正等について

(2) 指導者部会

	開催日	場 所	内 容
第 1 回	2017 年 2 月 5 日(日)	国立オリンピック記念青少年総合センター	指導者講習会の開催について

(3) 星マーク認定部会

	開催日	場 所	内 容
第 1 回	2016 年 4 月 15 日(金)	協会事務所	星マーク認定制度の新基準作成
第 2 回	2016 年 4 月 28 日(木)	協会事務所	星マーク認定制度の新基準作成
第 3 回	2016 年 5 月 12 日(木)	協会事務所	星マーク認定制度の新基準作成
第 4 回	2016 年 6 月 16 日(木)	協会事務所	星マーク認定制度の新基準作成
第 5 回	2016 年 7 月 22 日(金)	協会事務所	星マーク認定制度の新基準作成
第 6 回	2016 年 8 月 23 日(火)	協会事務所	星マーク認定制度の新基準作成
第 7 回	2016 年 9 月 20 日(火)	協会事務所	星マーク認定制度の新基準作成
第 8 回	2016 年 9 月 29 日(木)	協会事務所	星マーク認定制度の新基準作成
第 9 回	2016 年 12 月 6 日(火)	協会事務所	星マーク認定制度の新基準作成

(4) 観光部会

開催日	場 所	内 容
2017 年 3 月 22 日(水)	四谷保健センター	活動方針についての事務局合同会議

< 専門委員会名簿 >

1) 総務委員会

委員 長 山元 幸一(専務理事)
副委員 長 北村 則夫(常任理事)
委 員 高松 由紀子(常任理事)、竹内 雅彦(事務局長:9月まで)、
中尾 由紀子(総務係長)

2) 事業委員会

委員 長 松本 洋之介(常任理事)
副委員 長 児玉 嘉明(常任理事)
委 員 北村 則夫(常任理事)、堺 廣明(事務局次長)

① キャンプ場部会

部 会 長 田代 嘉宏(常任理事)
副部会長 鈴木 信夫(理事)
部会委員 江間 秀己(理事)、戸川 雅光(理事)、黛 徳男(理事)
森本 真理(理事)

② 指導者部会

部 会 長 松本 洋之介(常任理事)
 副部会長 佐藤 敦美(コーディネーター)
 部会委員 篠崎 大介(インストラクター)

③ 星マーク認定部会

部 会 長 松永 正剛(副会長)
 部会委員 高橋 邦夫(顧問)、小俣 幸男(個人会員)、
 堺 廣明(事務局次長)

④ 観光部会

部 会 長 小島 有三(個人会員)
 副部会長 折戸 晴雄(個人会員)
 部会委員 師岡 文男(副会長)、児玉 嘉明(常任理事)
 田代 嘉宏(常任理事)

(3)アジア・パシフィック委員会委員

委 員 明瀬 一裕(会長)、松本 洋之介(常任理事)
 小島 有三(観光部会長)、堺 廣明(事務局次長)

12. 会員の状況

(1)会員数

		内 訳	2017年3月31日現在	前 年	増減
正 会 員	個人		744 名	736 名	8
	団 体	キャンプ場	296 カ所	295 カ所	1
		用具・用品	18 社	17 社	1
		RV・施設関連	19 社	13 社	6
		団体小計	333 社	325 社	8
賛 助 会 員	団 体		6 社	6 社	0

(2) 会員種別一覧(2013年度～2016年度)

区分	2013年度		2014年度		2015年度		2016年度	
	会員数	増減	会員数	増減	会員数	増減	会員数	増減
1. 正会員	1,050	3 100.3%	1,053	3 100.3%	1,061	8 100.8%	1,077	16 101.5%
(1) 個人	723	0 100.0%	728	5 100.7%	736	8 101.1%	744	8 101.1%
(2) 団体	327	3 100.9%	325	△2 99.4%	325	0 100.0%	333	8 102.5%
①キャンプ場	298	2 100.7%	298	0 100.0%	295	△3 99.0%	296	1 100.3%
②用具・用品	14	3 127.3%	14	0 100.0%	17	3 121.4%	18	1 105.9%
③RV・施設	15	△2 88.2%	13	△2 86.7%	13	0 100.0%	19	6 146.2%
2. 賛助会員 (団体)	6	△1 85.7%	5	△1 83.3%	6	1 120.0%	6	0 100%
合計	1,056	2 100.2%	1,058	2 100.2%	1,067	9 100.9%	1,083	16 101.5%

注)各年度3月31日現在の会員数

(3) 団体正会員・賛助会員の入退会

① 団体正会員入会

(キャンプ場:8カ所)

キャンプ場名	管理者・管理団体	入会承認
宮島包ヶ浦自然公園(広島県)	(株)ELEOS	2016.6.1
斑尾高原 どんぐり村(長野県)	林 正人	2016.6.1
早川町オートキャンプ場(山梨県)	NPO 法人災害危機対応ネットワーク	2016.7.1
伊豆松崎あそび島(静岡県)	村田 泰裕	2016.8.1
ライジングフィールド白馬(長野県)	森 和成	2016.9.1
白馬の森わさび農園オートキャンプ場(長野県)	田中 末春	2016.11.1
ナラ入沢溪流釣りキャンプ場(栃木県)	齋藤 秀雄	2017.3.1
ふれあい広場緑水湖オートキャンプ場(鳥取県)	(株)緑水園	2017.3.1

(用具・用品:1社)

会社名	代表者	入会承認
(株)メガスポーツ(東京都)	神谷 和秀	2016.8.1

(RV・施設関連:6社)

会社名	代表者	入会承認
沖縄ツーリスト(株)OTSレンタカー(北海道)	中村 靖	2016.5.2
(株)ドリームプロジェクト(愛知県)	丹羽 哲也	2016.6.1
(株)パークホームズ(宮城県)	池田 昌弘	2016.6.1
合同会社トレジャー・ハンティング(静岡県)	中山 牧子	2017.1.6
(株)スペーススキー(東京都)	佐藤 祐輔	2017.2.1
Higher Ground Camping(静岡県)	(株)勝栄	2017.2.1

② 賛助会員入会(1社)

会社名	代表者	入会承認
サントリー(株)(東京都)	西田 英一郎	2016.9.1

③ 団体正会員退会

(キャンプ場:8カ所)

キャンプ場名	管理者・管理団体	退会日
四万十オートキャンプ場ウェル花夢(高知県)	(株)エコロジー四万十	2016.6.1
ファミリーパーク那須高原(栃木県)	田中 ケン	2017.1.6
星空感オートキャンプ場(岡山県)	セイビ(株)	2017.2.1
みずがき山ヘルシーランド(山梨県)	笠井 玉年	2017.2.1
会津高原INAキャンプビレッジ(福島県)	馬場 実	2017.3.1
IOX-AROSA オートキャンプ場(富山県)	医王アローザ(株)	2017.3.1
オートキャンパーズくずりゅう(福井県)	吉村 外治	2017.3.1
ポパイテン(兵庫県)	吉田 繁生	2017.3.1

② 賛助会員退会(1社)

会社名	代表者	退会日
サントリー(株)(東京都)	西田 英一郎	2017.3.1

＜正味財産増減計算書＞

2016年4月1日から2017年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取会費			
正会員	21,173,900	20,480,000	693,900
賛助会員	20,673,900	19,980,000	693,900
	500,000	500,000	0
② 事業収益	62,837,525	59,793,678	3,043,847
③ 受取助成金	48,060,000	51,660,000	▲ 3,600,000
④ 雑収益	449,425	299,412	150,013
関係団体協力金	100,000	0	100,000
事務受託金	329,504	295,339	34,165
受取利息	1,497	3,485	▲ 1,988
雑収益	18,424	588	17,836
経常収益計	132,520,850	132,233,090	287,760
(2) 経常費用			
① 事業費			
事業管理費	15,345,501	19,397,395	▲ 4,051,894
役職員退職給付支出	757,659	0	757,659
職員退職掛金支出	519,900	622,515	▲ 102,615
普及促進費	25,859,812	26,788,840	▲ 929,028
相談及び支援事業費	10,922,230	11,179,840	▲ 257,610
養成研修費	692,704	459,218	233,486
広報活動費	39,586,365	43,371,443	▲ 3,785,078
調査研究費	1,142,534	1,543,413	▲ 400,879
連絡提携費	558,367	744,975	▲ 186,608
事業費用	1,795,585	1,039,290	756,295
減価償却費	420,000	420,000	0
事業費計	97,600,657	105,566,929	▲ 7,966,272
② 管理費			
給料手当	16,494,193	14,788,701	1,705,492
役職員退職給付支出	1,767,871	0	1,767,871
役職員退職給付費用	2,200,000	0	2,200,000
職員退職掛金支出	455,100	219,024	236,076
福利厚生費	2,418,128	2,134,874	283,254
会議費	903,820	1,354,055	▲ 450,235
旅費及び交通費	483,926	436,682	47,244
通信運搬費	935,393	987,357	▲ 51,964
印刷製本費	153,576	155,880	▲ 2,304
貸借費	3,846,000	3,947,392	▲ 101,392
備品購入費	145,800	0	145,800
消耗品費	703,856	574,607	129,249
水道光熱費	243,764	276,265	▲ 32,501
渉外費	19,524	20,686	▲ 1,162
租税公課	2,425,802	2,439,042	▲ 13,240
雑費	878,143	1,329,239	▲ 451,096
管理費計	34,074,896	28,663,804	5,411,092
経常費用計	131,675,553	134,230,733	▲ 2,555,180
当期経常増減額	845,297	▲ 1,997,643	2,842,940
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
退職給付引当金取崩収入	0	2,000,000	▲ 2,000,000
経常外収益計	0	2,000,000	▲ 2,000,000
当期経常外増減額	0	2,000,000	▲ 2,000,000
当期一般正味財産増減額	845,297	2,357	842,940
一般正味財産期首残高	▲ 10,591,115	▲ 10,593,472	2,357
一般正味財産期末残高	▲ 9,745,818	▲ 10,591,115	845,297
II 正味財産期末残高	▲ 9,745,818	▲ 10,591,115	845,297

＜貸借対照表＞

2017年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	3,122	64,173	▲ 61,051
普通預金	23,413,274	15,628,035	7,785,239
定期預金	101,530	101,521	9
郵便振替	452,107	961,995	▲ 509,888
未収入金	1,788,020	1,950,020	▲ 162,000
前払金	715,947	436,599	279,348
貯蔵品	87,850	92,666	▲ 4,816
仮払金	36,400	0	36,400
流動資産合計	26,598,250	19,235,009	7,363,241
2 固定資産			
(1)特定資産			
役職員退職給付引当資産	5,301,125	5,300,000	1,125
特定資産合計	5,301,125	5,300,000	1,125
(2)その他の固定資産			
ソフトウェア	0	420,000	▲ 420,000
電話加入権	244,968	244,968	0
保証金	1,100,000	1,100,000	0
出資金	20,000	20,000	0
その他の固定資産合計	1,364,968	1,784,968	▲ 420,000
固定資産合計	6,666,093	7,084,968	▲ 418,875
資産合計	33,264,343	26,319,977	6,944,366
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	7,082,290	4,759,145	2,323,145
預り金	1,058,411	979,243	79,168
前受金	27,369,460	25,872,704	1,496,756
流動負債合計	35,510,161	31,611,092	3,899,069
2 固定負債			
役職員退職給付引当金	7,500,000	5,300,000	2,200,000
固定負債合計	7,500,000	5,300,000	2,200,000
負債合計	43,010,161	36,911,092	6,099,069
III 正味財産の部			
1 一般正味財産	▲ 9,745,818	▲ 10,591,115	845,297
正味財産合計	▲ 9,745,818	▲ 10,591,115	845,297
負債及び正味財産合計	33,264,343	26,319,977	6,944,366

＜財産目録＞

2017年3月31日

(単位:円)

科 目	金 額
I 資産の部	
1. 流動資産	26,598,250
(1) 現 金	3,122
(2) 普通預金	23,413,274
三菱東京UFJ銀行 銀座支店	18,868,126
三井住友銀行 麴町支店	1,873,261
みずほ銀行 四谷支店	873,170
東京東信用金庫 四谷支店	1,798,717
(3) 定期預金	
東京東信用金庫 四谷支店	101,530
(4) 郵便振替 (東京貯金事務センター)	452,107
(5) 未収入金 (オートキャンプ広告掲載料他)	1,788,020
(6) 前払金 (事務所家賃更新料、オートキャンプ白書2017経費他)	715,947
(7) 貯蔵品 (指導者オリジナルグッズ)	87,850
(8) 仮払金 (キャンプ場保険料立替)	36,400
2. 固定資産	6,666,093
(1) 特定資産	
退職給付引当資産 定期預金 (東京東信用金庫/四谷支店)	5,301,125
特定資産計	5,301,125
(2) その他の固定資産	
電話加入権	244,968
ソフトウェア	0
保証金 清重ビル	1,100,000
出資金 東京東信用金庫 四谷支店	20,000
その他固定資産計	1,364,968
資 産 合 計	33,264,343

(単位：円)

科 目	金 額
Ⅱ 負債の部	
1. 流動負債	35,510,161
(1) 未払金 (オートキャンプ印刷・発送費、消費税他)	7,082,290
(2) 預り金 (キャンプ場保険料他)	1,058,411
(3) 前受金 (2017年度会費、アウトドアデイジャパン2017出展料他)	27,369,460
2. 固定負債	7,500,000
(1) 退職給付引当金	7,500,000
負債合計	43,010,161
正味財産	▲ 9,745,818

< 固定資産明細書 >

2017年3月31日

1. ソフトウェア

(単位：円)

NO.	科 目	取得年月日	作成費用	償却期間	当期償却額	期末簿価
1.	ホームページ作成費	2012年4月	2,100,000	5年	420,000	0

2. 電話加入権

(単位：円)

1.	60,000	NO.03(3357)2851(代表)
2.	35,000	NO.03(3357)2850
3.	74,984	NO.03(3353)4110
4.	74,984	NO.03(3357)3005
計	244,968	

財務諸表に関する注記

1. ソフトウェアについては、每期均等額を償却している。

2. 消費税の会計処理
税込処理を実施している。

3. 受取会費は、年度基準を採用している。

4. 役職員退職給付引当資産

年度末における役職員退職給付引当資産は、次のとおりである。

(単位:円)

	前年度末	当年度	当年度末(累計)
役職員退職給付引当資産	5,300,000	1,125	5,301,125

5. 役職員退職給付引当金

年度末における役職員退職給付引当金は、次のとおりである。

(単位:円)

	前年度末	当年度	当年度末(累計)
役職員退職給付引当金	5,300,000	2,200,000	7,500,000

6. 職員の退職掛金

職員の退職時の退職金の一部に充てるため、中小企業退職金共済法に基づく中小企業退職金共済制度(運用は、独立行政法人中小企業基金整備機構。以下「機構」という。)を導入し、毎年機構に掛金として支出している。当年度末の掛金及び掛金に係る運用益及びその合計は、次のとおりである。

(単位:円)

	前年度末(累計)	当年度	当年度末(累計)
掛 金	1,009,939	975,000	1,984,939
運 用 益	▲ 107,139	291,000	183,861
	当年度末試算額計		2,168,800

一般社団法人日本オートキャンプ協会
会長 明瀬 一裕 殿

監 査 報 告 書

一般社団法人日本オートキャンプ協会の2016年度（自2016年4月1日
至2017年3月31日）決算にあたり、事業報告書、正味財産増減計算書、
貸借対照表、財産目録及び証憑について監査した結果、いずれも適正である
ことを認めます。

2017年5月8日

監 事

堀部 昭夫 